

市長メッセージ(お盆をお迎えするにあたって)

市民の皆さん、こんばんは。

本日は、明日から来週のお盆を含めてお休みが多くなる期間を控えまして、今日夕刻までの状況を前提に、新型コロナウイルス陽性確認者を巡る状況のご報告と、ご家族の帰省も控え、生活上の注意喚起のお願いを改めてさせていただきたいと思っております。

まず、本日7日は、先日来10名を超える多数の感染が確認された米軍基地関連の感染拡大防止対策とその徹底のため、京都府、地元住民も参加した報告・対策会合が防衛省の主催により本市役所において開催され、現在までの対策と状況が報告されました。

そこで、近畿中部防衛局長から、

一つ、本市として強く求めてきた、米軍、軍属、日本側従業員、濃厚接触者については全員、PCR検査を行う。そして現在、軍属の一部を除き検査待ちを含めすべて検査を終えたこと、

一つ、住民不安を払拭するため、必ずしも濃厚接触者に限らず、京都府丹後保健所とも協力し、一定の幅を広げた範囲で検査を実施しつつあること、

一つ、陽性確認者の隔離措置、施設の消毒、行動制限はじめ必要な感染防止措置、生活様式の徹底、

などが報告され、本市として、地元住民の代表者と共に、不安払しょくとさらなる感染拡大防止のための万全な対応と情報開示を、引き続き、強く要請すると共に、京都府、防衛省、米軍など関係機関と一緒に、緊張感をもって必要な対応にしっかりと努めてまいります。

そして、来週にはいよいよお盆をお迎えします。ふるさとへの帰省を巡って、安倍総理をはじめ政府関係者のみならず、各地の自治体の首長からも自治体の事情を反映した様々なメッセージが出されておりますが、本市として、それに逐一申し上げるものではありません。ただ、このような中、困惑される住民の方がおられれば、大切に思いますことは、お一人お一人の固有の御事情、御環境もある、その中で個別に、真摯なご判断がなされれば問題はない、大丈夫ですよ、とお伝えしたいと思っております。

お盆はご先祖様に感謝の思いを寄せる、昔から、歴史の中で継続して営まれて

きた大切な行事です。同時に、ご家族、御縁者以外の他人がどうこう入り込むことが必ずしもふさわしくない、お一人お一人の心の領域、琴線に触れる行事でもあります。

本市として、御帰省される方には、どこの地域からお帰りになるかは関係なく、ふるさととして、心から温かく、うれしく、お迎えをしたいと思えます。

私たちとして大切なことは、お盆内外の期間にかかわらず、どんなときでも、どんな場合であっても、感染予防の重要性を常に自覚し行動する、感染予防を引き続き自ら普段の生活の中でしっかり徹底することです。

① 社会的距離(できるだけ2m(最低1m))の確保、②マスクの着用、③こまめな手洗い、そして、3密(密集、密接、密着)の回避、です。

さらには、飲食時の大声を控えるなどの予防エチケット、行動にあたっての体調の判断、そして、とりわけ、高齢者や基礎疾患のある方への一層厳格な配慮は、この際、徹底的に行っていただきたい、と思えます。

そして最後に、心を込めて繰り返しお伝えしたいことがあります。というのも、このような状況にあって、もしこの先も含め、市内の方の感染がさらに確認されても、感染者の方またそのご家族、関係者を巡り、人権侵害になるようなこと、例えば、誹謗、中傷などは、決して、私たちとして行わない、ということです！

むしろ、感染者の健康回復をご一緒に応援していただき、行政としてもこれを全力で支援してまいります。

いずれにしても、今大切なことはなにより、感染予防の徹底です。市民全体で感染予防対策に取り組み、一丸となってこの難局を乗り越えましょう！

令和2年8月7日

京丹後市長 中山 泰